

♪ 空港のおしごと紹介 ♪ ～縁の下の力持ち・空港管理所のお仕事～

第2回 実録！！除雪体制24時 ～出雲空港編～

～はじめに～

みなさん、今年の冬も雪がしっかり降りましたね～。

実はこの雪は、飛行機が安全に離着陸するのに非常に”邪魔者”なわけで、雪の降る島根県にある空港では除雪がつきものです。この除雪も空港管理所の仕事の一つです。

今回の空港のおしごと紹介は、そんな除雪に関わる人たちの熱い（寒い？）一日をご紹介します。

～ある日の滑走路～

雪で見えませんが、ここに滑走路があります



（除雪担当職員同士の会話）

職員A「全く、今日もこげんに雪が降ってごして(´ε`)滑走路が全然みえせんがや！！」

職員B「まあまあ、そげんにえらくらんと、とりあえず滑走路の状況を確認しましょうや」

職員A「そげだね、ついカツカしてしまったけん頭でも冷やすわ、雪だけに」



職員が滑走路の状況を確認します。
←車から降りて、積雪量を確認しています。

出雲空港では出発第1便が7時40分には離陸するので、除雪が見込まれるときは朝3時にこの作業を実施します。除雪が必要と判断されれば、それから職員を招集し4時30分には除雪を開始します。



そして、いよいよ除雪開始です。
 「スーパー除雪車」「プラウ除雪車」「ロータリー除雪車」(全て除雪車の種類です)により隊列を組んで除雪を行います。そのほか、凍結防止剤の散布も行います。滑走路だけでなくエプロン(飛行機が駐機する場所)や誘導路(滑走路とエプロンをつなぐ道)も除雪します。



除雪作業は主に業者さんをお願いしてやりますが、今後の天候や風の向き、離発着の時刻を考慮しながら管理事務所の職員と除雪方法について相談しながら行います。



除雪後はこのサーフィス・フリクション・テスター(SFT)車という専用車両で滑走路等を走行し、路面摩擦係数や積雪深・雪質などを調査します。



60 km/hで走行して測定します。

路面状況を記録します。



測定した内容を関係機関に連絡する報告書にまとめます。早さと正確さが求められます。これらのデータは航空機が離着陸できるかどうかの判断に使われます。航空機の安全な運航に関わる重要な内容なので、複数の職員で確認を行います。



まとまった内容を関係機関にすぐに連絡します。



(写真：上)
全ての作業が終わり、飛行機が発射するのを見届けます。

(写真：下)
ちょっと分かりづらいですが、離陸しました。



～おわりに～
飛行機に乗られた際、「なかなか着陸しないな〜」と思われることがあるかもしれません。その時、空港では安全に着陸できるよう、寒い中除雪作業に汗をかいている場合があります。ご不便をおかけしますが航空機の安全な運航を行うためですので、ご理解・ご協力いただきますよう、お願いします。

～隠岐空港編～

隠岐空港での迫力ある除雪の様子です。

